

Green Brave

#52 Green Brave GR Supra GT

AUTOBACS SUPER GT 2024 SERIES

Round.6

SUGO GT 300km RACE

2024年9月21日(土)～22日(日) スポーツランドSUGO(宮城県村田町)

■ ■ ■ 公式練習中のアクシデントにより無念の未出走 ■ ■ ■

第5戦の延期を挟み、2か月近いインターバルを経て開催された第6戦SUGO。レース距離は300kmです。予選日(土曜日)の天候は雨。東北地方に強い雨が降り注ぐ、肌寒いコンディションの下、9時15分から公式練習が行われました。

吉田選手はシグナルの合図とともにコースイン。午後の公式予選がキャンセルになった場合、公式練習のタイムが採用される可能性があるため、多くのクルマがコースに入っています。吉田選手は1周目に1分45秒938をマークし、ホームストレートを通り、2周目の1コーナーに進みます。しかし、事前に選択したタイヤが路面とマッチしておらず、SPコーナーの立ち上がりでスピン。回転しながらスポンジバリアに衝突し、ストップします。このクラッシュにより赤旗が提示され、公式練習は中断に。GR Supraはトラックに載せられピットに戻りますが、フロントおよびリアにダメージを負っており、特にリアセクションは大きく破損しています。モータースポーツ室のエンジニアや店舗メカニックが破損状況の確認を進めますが、GTA GT300車両のGR Supraは正規のパーツをすべてそろえるのが難しく、レースを戦える状態に戻すのは困難な状況。さまざま検討を経て、チームは未出走(リタイア)を選択。ピット内で緊急ミーティングが開かれ、青柳監督からスタッフ全員に決定が伝えられました。

「GR Supraはオリジナルパーツを多数使用するGTA GT300車両です。形だけ整えてもしっかりレースを戦えない、さらに不具合があればレースの進行や他のチームに迷惑をかけてしまいますので、残念ですがリタイアを選択しました」(青柳監督)。

その後、午後の予選は雨のためにキャンセルとなり、公式練習のタイム順でグリッドが決定。Green Braveの姿がないのはSUPER GT参戦以来、初めてのことで、厳しい結果となりましたが、ピットでは次戦オートポリスに向け、GR Supraの修復作業が始まっています。次戦オートポリスでのリベンジにご期待ください。

決勝結果(GT300クラス)

#52 Green Brave GR Supra GT
(吉田広樹/野中誠太)

決勝: 未出走

予選: 未出走



DRIVERS VOICE



吉田広樹 選手

予想していたコンディションより気温が低く、自分たちが持ち込んだタイヤは厳しい状況でした。午後の雨量次第では予選がキャンセルになり、朝のフリー走行のタイムが予選順になるかもという話だったので、無理はしないにしろ、そこそこのタイムを出しておきたいという気持ちがありました。攻めようと思うほど、自分も含めてコンディションは整っていませんでした。徐々にペースを上げていければいいかなと思ってたところで、あのようなスピンをしてしまいました。体の方は大丈夫です。気持ち的に油断していたわけでも攻めていたわけでもなく、何ができたかという、気をつけなければいけなかったというだけの話です。そこがちょっと足りなくてレースに出られなくなり、チームに迷惑をかけてしまいました。チーム始まって以来の状況にしてしまったので、自分としても責任を感じます。チームや、この環境を用意してくれている埼玉トヨペットさん、たくさんの方々に助けてもらってレースをやっているの、そういう方々に対して申し訳なかったと思います。



野中誠太 選手

1周もすることができずに終わってしまいましたが、まずは吉田選手の体が無事で何よりです。気温が低く、グリップが低い中で大変な状況でしたが、シリーズを狙うには非常に厳しい状況になるので、リタイヤを受け入れるのは時間がかかると思います。チーム一丸となり、気持ちを切り替えて、オートポリスに向けて準備していかなければならないと思っています。SUGOは昨年優勝しているコースで相性が良かっただけに、ここでポイントをしっかり稼ぎ、残りのレースでチャンピオンに向けて、有利に進めていきたかったところだったので、そのステージにも行けないというのは非常に悔しいですね。ライバル勢にもクラッシュがあったのですが、雨量というよりは気温が予想よりも低く、グリップ不足が原因だと思います。吉田さんのアクシデントは車載映像で確認しましたが、大きなミスをしているわけでもないですし、ぼくが最初に走っても同じ状況になったかもしれません。正直、どうしようもない状況だったと思います。最近、チームは優勝から遠ざかっていますし、ぼくもまだ優勝したことがないので、まずはそこを目指してやっていきたいですね。

GT300 クラス決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)	79周
2位	PONOS FERRARI 296 (フェラーリ 296 GT3)	79周
3位	D'station Vantage GT3 (アストンマーティン ヴァンテージ GT3)	79周
4位	Studie BMW M4 (BMW M4 GT3)	79周
5位	SUBARU BRZ R&D SPORT (スバル BRZ GT300)	79周
6位	apr LC500h GT (レクサス LC500h)	79周

天候：雨/晴 路面：ウエット/ドライ トップ6まで(出走26台)

GT300 クラス チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	65	K2 R&D LEON RACING	71
2位	8	muta Racing INGING	61
3位	777	D'station Racing	51
4位	88	JLOC	44
5位	7	BMW M Team Studie×CRS	42
6位	56	KONDO RACING	40
10位	52	埼玉 Green Brave	35

PARTNERS



Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社



株式会社アルシエ



株式会社 FM NACK5



小倉クラッチ株式会社



株式会社カロッツェリアジャパン



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社三和



株式会社セーフティライフ



大和ラチエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社



BP カストロール株式会社



株式会社プロモーション



マックメカニクスツールズ株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社 REIZ



次戦予告

10月19日~20日
オートポリス
(大分県日田市)